

愛・地球博記念公園 公園マネジメント会議 **かわらばん** 第30号

～平成25年度第3回コア会議を開催しました～

平成26年5月27日(火)に「公園マネジメント会議 平成25年度第3回コア会議」が愛・地球博記念公園 地球市民交流センターにて開催され、22名のコア会議会員の方が出席しました。

事務局から、会員主導の組織運営に向けて会議前の企画段階から会員に参画してもらう提案のほか、2団体の新規会員の承認と、都市緑化あいちフェアに向けた組織の取り組み方法案が議題として提示されました。

今回のコア会議では、最近承認に必要な会員の出席が得られない会議の現状を危惧する声や新規会員も含めた会員の相互理解の場の創出を希望する意見が多く出されました。また、全国都市緑化あいちフェアに向けた取り組みについて、この組織としてどう取り組んでいくべきであるかが課題として出され、活発な意見交換が行われました。



平成26年度公園マネジメント会議の進め方について（前半）

（報告・承認）

- 公園マネジメント会議の進め方として、長期目標である会員主導の運営について事務局より説明されました。
- 会議内容、会議運営への会員の関与について、承認されました。

（質疑・意見交換）

- 「知ってましたか？〇〇」シリーズや「分科会活性化プロジェクト」は各団体の活動紹介や公園に対する意見を会員が発表する場である。
- 企画ミーティングの開催日程連絡は早めに実施していく。
- 「知ってましたか？〇〇」シリーズや「分科会活性化プロジェクト」はコア会議や総会の中で実施していく。



平成26年度公園マネジメント会議の進め方について（後半）

（報告・承認）

- 今年度の目標、「緑化フェアにおける取り組みを決定する」、「公園マネジメント会議の歩む道を探る」の2点について事務局より説明されました。
- この2つ柱を目標にして取り組んでいくことが承認されました。

（質疑・意見交換）

- 「公園マネジメント会議の歩む道を探る」については、これまでの議論の積み重ねを活かして議論してもらいたい。



新規会員の承認について

（報告のみ）〈承認はなし〉

- 新規会員の応募者の2団体(レグエビクニック実行委員会、株式会社ヴィヴィ)が、事務局より報告されました。
- 会員としてどのような活動をしていくのかが不明で承認の是非が判断できないため、次回総会で活動計画について直接話して頂く必要があるという意見が多数でした。
→承認は次回総会へ持ち越しとしました。



（質疑・主な意見交換）

- 仲間となる会員がどんな活動をしているか理解して欲しいし、本人たちの顔が見えない段階では判断しづらい。
→総会や臨時総会の会員が集まる機会に会員の相互交流のような企画を入れたらどうか。
→会員紹介や活動紹介などインターネットを活用してもいいのではないか。
→まとまりをつくるためには、全体の交流、知るということがこれから大切なのではないか。
→プレゼンを聞いて質疑応答をすればやりたいことも聞ける。それから決定した方がいいのではないか。
- 公園マネジメント会議に入ってもらい、公園のルールを守っていく方法を一緒に考えていけるとよい。
- こういう形でどんどん会員を増やしていくと、会員は増えるが総会が成立しない。真剣に考えないといけない。
→新規会員さんには会議の目的と、活動がどう活かせるかを分かった上で入っていただきたい。
→最近、総会が不成立になることもあるので、新規会員さんにも意思を確認してから入会してもらうべき。
- 一番の問題は、今の会員さんが参加しない状況であり、その解決方法の議論が深まらないうちに、新規会員をどうしようというのは本末転倒である。現会員さんと新規会員さんの共通課題として検討していくべきである。
- 次回の総会で新規会員さんにはお話をいただくこととする。

全国都市緑化あいちフェアに向けた取り組みについて

（報告・承認）

- 全国都市緑化あいちフェアに向けた取り組みについて、事務局より作業部会の報告がされました。（これまでの取り組みのまとめ、骨子案、枠組み案、作業部会の素案について）
- 作業部会の素案のひとつ、「中心となる人をディレクターとし、近いうちに会員から10人くらい候補者を募集する」については承認されました。

（質疑・主な意見交換）

- 資金面はどうなったのか、どこから予算が出るのか、予算獲得に向けて動いているのか。
→やりたいことに対して全額出るのは非常に厳しいと思う。これから具体的に考えていかなければいけない。
→都市緑化のための資金なので、ミニ万博のような内容のための資金ではないことを理解する必要がある。
→予算が決まるのはかなり先の話になるので、やりたいことを積み上げていったほうがいいのか。
→補助金の申請とかの段階には進んでいない。作業部会でもっと具体的な話をしていきたい。
- 我々ができることは、愛知万博時のボランティア的なことや、人との関わりのことではないか。
- 「アマゾン・アンデス博物館」について、多目的スタジオのひとつのブースでやれるような規模ではなく、愛・地球博記念館のギャラリー3を想定していたので、それぐらいのスペースをどこかで確保しないとできない。
→緑化フェアの骨子案に愛・地球博記念館での展開は盛り込んでいない。多目的スタジオ、多目的室で行うという前提条件のもと、議論していただきたい。
- 作業部会で作り上げた「10のアクション」を誰がどう実行するのか分からず、先が見えないと前に進めない。
→作業部会がディレクターズミーティングに該当し、そこで空間的制約、予算的制約、時間的制約を組み合わせながら精査し、緑化フェア推進室の方と話し合っ、コア会議等で意思決定できるといい。
→今日のコア会議の意志決定として、10人位のディレクター制度で企画を取りまとめていくことを確認した。
- 多目的スタジオを「総力を結集」する場とすると、ここに集約されてしまう印象があるため、表現を見直す。

その他

「知ってましたか？〇〇」と「分科会活性化プロジェクト」の会員情報と退会者についての連絡事項は、次回の総会へと延期されました。

お問い合わせ先

愛知県建設部公園緑地課(協働グループ) 担当：山口 ； 公益財団法人愛知都市整備協会 愛・地球博記念公園管理事務所 担当：落合
〒460-8501 名古屋市中区三の丸三丁目1番2号 ； 〒480-1342 長久手市茨ヶ廻間乙 1533-1
TEL：052-954-6491 FAX：052-953-5329 ； TEL：0561-64-1130 FAX：0561-61-2150

